

## 【SALA】図書館における防災に関するアンケート 結果報告書

### 1. 実施期間

2012年10月23日（火）～11月1日（土）

### 2. 実施方法

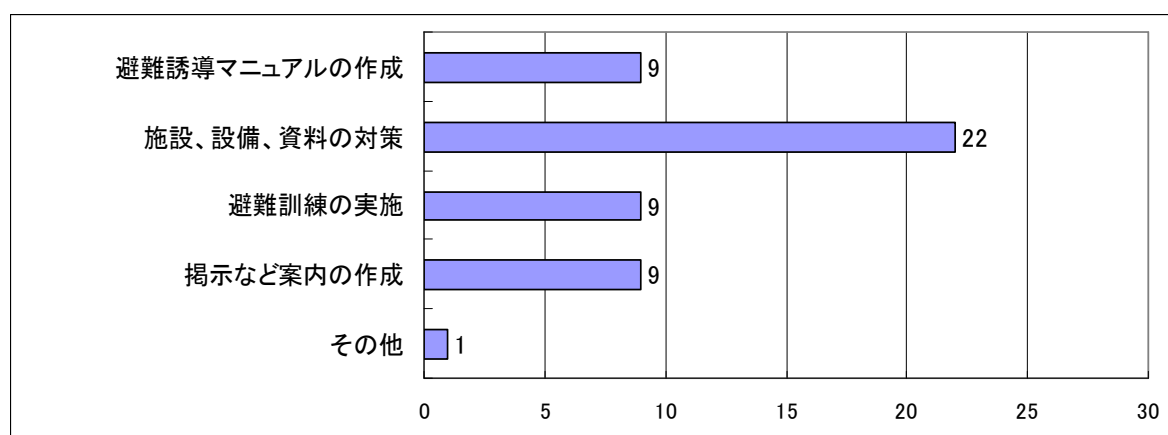
Web上における記名式アンケート

### 3. 回答状況

加盟機関数	回答機関数	回答率
47館	33館	70.2%

### 4. 集計結果（集計値：機関数）

**問1 災害対策として、図書館で行なっていることはありますか？（複数回答可）**



\*その他の記述： 緊急連絡網の整備

**問2 問1で、施設、設備、資料の対策をチェックされた方にお聞きします。**

**具体的な内容を記入してください。**

#### 1.施設・設備

##### (1)耐震・免震設備の設置・補強 17館

- ①免震構造 図書館全体、免震書架に入れ替え
- ②転倒防止(耐震バー、落下防止テープ・シート、棚板に斜度、最上段はブックエンドからブックサポートに変更)

##### (2)防災設備・器機の設備 4館

- ①防災システム設置・非常口・火災報知機設置・非常用階段・非難梯子設置
- ②懐中電灯、乾電池、トランシーバー、ラジオ付懐中電灯、拡声器(サイレン付)、ヘルメット
- ③危機管理用備蓄キット(携帯ラジオ等)

## 2.資料

### (1)置き方を変更 2 館

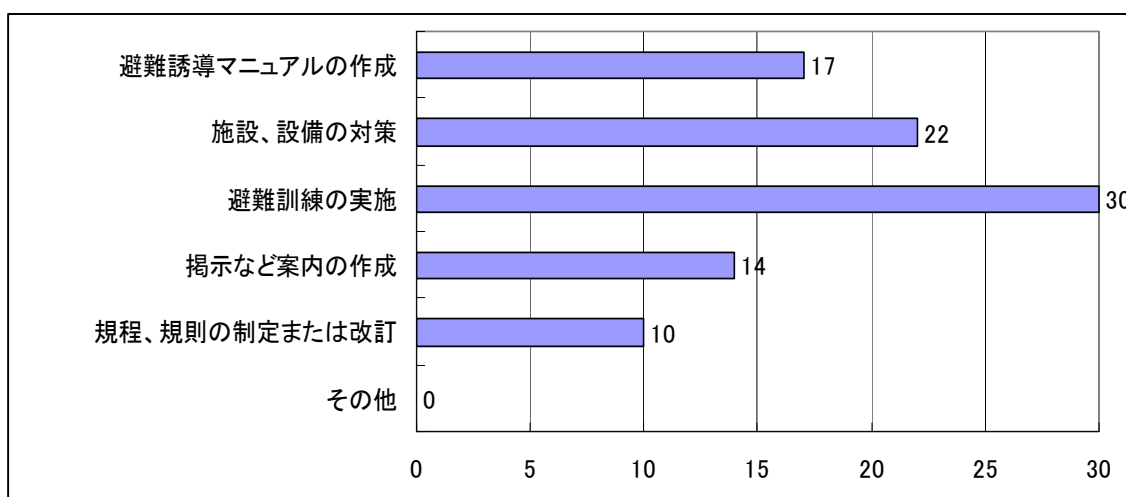
- ①書棚の後ろに揃え、手前に滑り止めのテープを貼る
- ②落下状況を見て、利用者の安全を第一に考え、一部配架変え

### 問3 問1で、掲示など案内の作成にチェックされた方にお聞きします。

具体的な内容を記入してください。

- ①緊急避難場所・経路図
- ②非常口・階段の案内表示
- ③エレベータによる避難関連の注意
- ④「図書館で大地震がおきたら」というA4サイズの注意書き
- ⑤「注意 地震が発生したら、書架からすぐに離れて下さい」
- ⑥免震構造エクспанション附近の掲示文
- ⑦電子掲示板(図書館入口付近)「余震に注意。大きな余震が来たら書架から離れて、通路や閲覧席付近に移動を。」

### 問4 大学全体で取り組まれている災害対策を教えてください。(複数回答可)



### 問5 問4で、施設、設備の対策にチェックされた方にお聞きします。

具体的な内容を記入してください。

1. 耐震・免震設備の設置・補強 9 館
2. 防災設備・器機の設備・点検
  - ①防火扉、火災警報機、消火器、消火栓、
  - ②災害備蓄倉庫の新設
  - ③緊急地震速報受信システム(クルグラット)の導入
  - ④窓ガラス飛散防止フィルムの貼付
3. 防災関係物品の備蓄 5 館
  - ①スリーピングバッグ、災害簡易組立トイレ、災害用クラッカー、ミネラルウォーター、アルミ組立リヤカー、二つ折り担架、ヘルメット、軍手、毛布

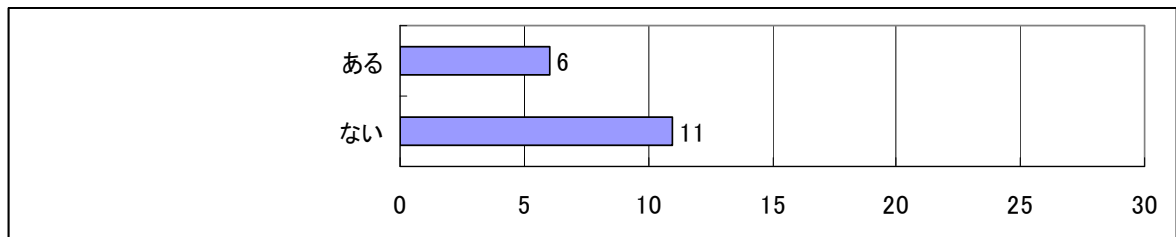
問6 問4で、掲示など案内の作成をチェックされた方にお聞きします。

具体的な内容を記入してください。

- ①避難方法・経路・場所、非常口、避難訓練案内
- ②緊急時連絡先、自衛消防隊班編成表をキャンパス内に掲示
- ③「地震時の行動ポイント」についての掲示を、教室等キャンパス内各所に貼る
- ④避難方法・避難場所・避難経路及び緊急時の連絡先を明記したパンフレットを作成し配布
- ⑤大地震対応マニュアルを作成・配布している

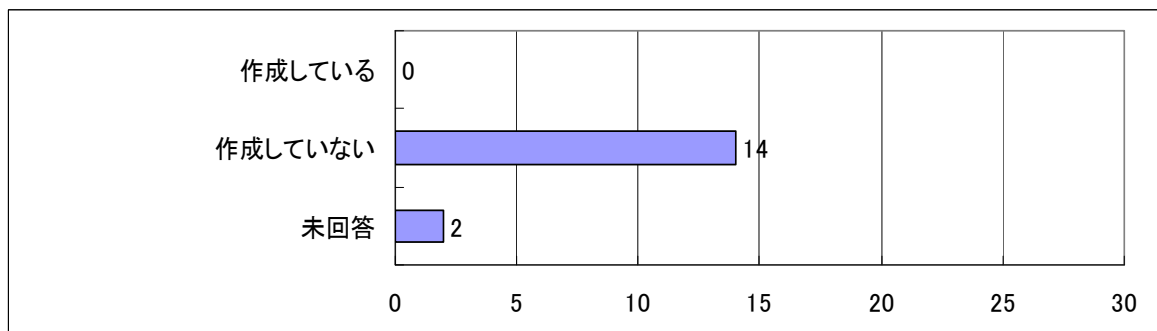
問7 問4で避難誘導マニュアルの作成をしている大学はお答えください。

大学の避難誘導マニュアルに、図書館内の誘導についての記載はありますか。



問8 問4で避難誘導マニュアルの作成をしていないと回答した大学はお答えください。

図書館でマニュアルを作成されていますか。



## 問9 災害や危機管理について不安なことがあれば、記入ください。

- ①災害時に学生や教員の所在を把握できるかどうか(逃げ遅れ等がないか)をスムーズに、かつ職員の安全も守りつつ行うことができるかどうか不安です。
- ②2010年3月11日の東日本大震災において、本校舎も微小ながら被災しました。それを受けて、学園全体で危機管理体制の見直しと整備が進められています。しかし残念ながら、1年半たったいまでも十分な体制が整えられたとはいえません。訓練もあまり行われていません。不安といえば不安です。とはいえ、教職員、学生とも、「全員が不安をもっている」＝「現在の体制が不十分だと認識している」ことで、実際に災害が起こった時にはそれなりの対応ができるのではないかと予想しています。
- ③図書館の避難誘導マニュアル作成を今年度の目標にしています。
- ④大学全体での災害対策は進行中だが、図書館独自としては、避難訓練の実績もなく、避難誘導マニュアルも未整備である。
- ⑤職員が不在または少数となる夜間や土曜日などで発生した場合の対応が一番不安です。
- ⑥漠然とした対処方法はわかっているが、実際に起きた時に対応できるかわからない。
- ⑦図書館が地下にあるため、夜の時間帯に大地震が来た場合は非常に不安です。また実際に東日本大震災の際、図書の復旧作業(書棚や書庫に片づける)を行うにも人手が足りず、非常に困りました。おこった後の援助マニュアルもあると助かるなと思いました。
- ⑧本学の場合、全般に小規模運営であるため、図書館での利用者の安全確保や資料の保全において油断しがちであるので、災害を含めた危機管理対策について、最低限のポイントを押さえたい。ただし、莫大な経費をかけることは困難であるので、経費をかけずに対応できるヒントを得たい。
- ⑨職員の勤務時間外、特に夜間開館時の災害対策について、早急なマニュアル作成が必要と感じている。
- ⑩書庫の避難経路(非常口)が少ないこと。また、書庫内は高書架が多く、間隔も狭いこと。
- ⑪地域の利用者(特に子ども)への対応。職員が1名の時に十分対応できるか不安である
- ⑫図書の落下防止対策が万全でないこと。
- ⑬事前に施設や備蓄をどの程度整備するのが妥当なのかが分からない。
- ⑭3.11の震災時は学生が少ない時期だったので無事に誘導ができ、けが人もなかったが、通常の授業期間で学生が大勢いるときの避難誘導が予想できないので、心配である。
- ⑮図書館員によるAED講習会や普通救命講習会の積極的な参加が望ましいが、時間がなかなか取れない。
- ⑯災害時における老朽化の建物の崩壊
- ⑰大規模地震が時間外や休日における開館時に発生した場合の対応。
- ⑱断水対応に不安があります

☆☆☆ご協力ありがとうございました。☆☆☆